

# 南風原町観光協会 ありんくりん



発行 一般社団法人 南風原町観光協会  
南風原町字本部 158 番地  
電話 098-851-7273  
FAX 098-851-7109  
Mail [chiiki-machidukuri@haebaru-kankou.jp](mailto:chiiki-machidukuri@haebaru-kankou.jp)  
URL <http://www.haebaru-kankou.jp> (公式HP)

2 月は大きなイベントが立て続けにあり、職員一同、大わらわでした。無事すべてのイベントを問題なく終えることが出来、胸をなでおろしている所です。今月号は、1 月と 2 月の観光協会のイベントや、来年度に向けての予告を中心にお伝えします。

## 観光協会の1月&2月

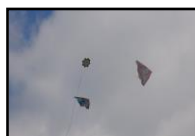
### 新春飛び安里凧あげ大会 開催しました

1 月 11 日 (日) に、第 20 回新春飛び安里凧あげ大会を行ないました。昨年に引き続き餅つき体験など行ない、大盛況のイベントとなりました。

コンテストの参加者も多かったのですが、凧作り教室の参加者もたくさんいて、親子で楽しそうに凧作りをしている姿は、ほほえましい一幕でした。

昨年度に比べて、2 倍以上のコンテスト参加者があり、参加者全員が思い思いの凧を自由に飛ばたかせ、一生懸命がんばって凧上げをしていました。

新春の夢を大空にのせて、  
楽しげにあげる子どもたちは、  
皆、現在の「飛び安里」です。



### 新春、雅やかに... お茶会しました

2 月 1 日 (日) に、本部区の古民家謝名家においてお茶会イベントを行ないました。

地元の方々の演奏する三線・琴で開幕。表千家の古我知先生をお迎えしたお茶会の席ではかすりの女王におもてなしをしてもらい、「かすり」の PR になりました。

お茶会に加えて、書初め会とかすりの道ツアーも開催。ふで工房一書 癒書人のほら恵子さんに書初めを、本部区の大城徳次郎さんにツアーの同伴をしてもらいました。

昨年にはなかった、はえばる観光案内所ができたことから、出張観光案内所という形で、物販も行ない、新たな可能性を広げることができ、あわせて 100 人のご参加をいただきました。半日のイベントでしたが、実りの多いものになったと思います。



### 歓迎！名古屋グランパスエイト！ 南風原物産展にも出展

ご存知のとおり、2 月 9 日から 17 日にかけて、南風原町に名古屋グランパスエイトが、沖縄キャンプにやってきました。

観光協会も、ブースを借りて出張観光案内所をオープンし、特産品を販売しました。グランパスを応援するため、本土から南風原町へ来た方々に、南風原の物産を PR できました。

期間をはさんだ 14 日・15 日は南風原物産展にも出展。やさしい観光地づくりプロモーション事業や、ウルトラマンプレシャスステージツアーのチケット販売を行ないました。



### 金城哲夫生誕75周年記念事業 ウルトラマンプレシャスステージも開催

2 月 21 日 (土) に、金城哲夫生誕 75 周年記念事業を、南風原中央公民館において行ないました。金城哲夫氏に関する資料展や関連作品の上映会などを行なう中、黄金ホールでは、シーズ琉球ライブによる、「ウルトラマンプレシャスステージツアー」も同時に開催し、とても盛り上がったイベントとなりました。



オープニングセレモニーには、はえるんとウルトラマンが夢の共演！

資料展では、展示・上映部作成の資料に加え、金城哲夫研究委員会の資料パネルなどで、金城哲夫氏についての見識を深めてもらえたと思います。廊下には町内の保育園児らのぬり絵、学童の合作張り絵など大迫力。また、ウルトラマンのトリックアートやぬり絵コーナーも設け、終始親子連れが多い会場となりました。



プレシャスステージでは、子どもたちも大興奮の内容で、目の前でウルトラマンの力強いアクションや、感動のストーリーで、親子で考えながら楽しめる内容でした。前売り券、当日券も完売し、全席満員での大盛り上がり。1 日でおおよそ 1,800 名の来場者を数え、記念事業にふさわしい内容となりました。



### 南風原町民泊推進活動記録

## 黄金南風のひだまり

1月、2月と民泊受入家庭の方々を対象にした、講習会を開催いたしました。

1月24日は、リサイクル紙すき・ハガキづくり体験。2月11日は、アレルギー講演会(琉球舞踊館うどい 平良代表)と調理講習会を行ないました。安全・安心な民泊を続けていく上で大切な講習会と、民泊における体験学習を通して、より深みのある南風原町の民泊を提供できるようになると思います。(山城)



## 地域の宝者★ はえばるマイスター

南風原町には、ミニディや学校現場、また民泊で南風原を訪れた修学旅行生に、体験学習のお手伝いを行なう「ふるさと名人」がいます。2月27日、ふるさと名人が一堂に会して、研修交流会を行ないました。

名人それぞれの得意分野の紹介や指導などを行ない、名人同士の親睦を深めていました。いろんな場所での活動を誓いつつ、来年度に向け決意を新たにできた会となりました。(山城)



1月と3月に、ふるさと名人の派遣を行ないました。大城正子先生の「盆点前体験」と神里ヨシ子先生の「ソーブカービング体験」です。町内のスマイル会が依頼主で、計10名が、名人のわざに触れ、体験を楽しんでいました。ふるさと名人はアナタの「やってみよう」をお手伝いします！



ふるさと名人、どしどし活用ください！

# haebaru DANCE KIDS NEWS

## ～ハエバルダンスキッズニュース～ 激動のダンスキッズ！新生ビュウリーズ、いよいよ！

1月から2月は、ビュウリーズとダンスチーム・ビュウリーズキッズが大活躍&ビュウリーズ新メンバーオーディションもあり、「激動」の文字がふさわしい月々でした。



1月11日の新春マラソン大会で、幕開けダンスとコースの走破で会場盛り上げをしました。2月15日イオン南風原にて南風原物産展、22日那覇市てんぶす館にて南風原観光アプリプロモーション事業で会場をはなやかにしました。21日は、『おきなわいちば』の取材も受けたり(『おきなわいちば vol. 49』に掲載されました！)、22日は初のストリートダンス披露で、心地よい緊張感の中、みな笑顔がはじける舞台となっていました。



そして2月28日には、ビュウリーズの新メンバーを迎えるためのオーディションを行ないました。総勢24名の応募の中から、3次にわたる厳しい審査の末、1名が選ばれました。新しいビュウリーズのメンバーは、まぶしい笑顔が印象的な、座間味ゆりさん(小2)！よろしくお祈りします！

新メンバーも迎え、来年度に向けエンジン全開のビュウリーズ。どんな活躍を見せてくれるのか、担当も楽しみです。(辻)

## 謝名家に 落語きたる！

かすりの道のイベントといえはココ！本部区の謝名家で4月20日、21日の両日、落語がやってきます！時間は2日間とも18:30開演です(30分前開場)。入場は無料！沖縄ではあまりなじみのない落語文化ですが、軽妙な噺に、ハマる人もでてくるのでは？ぜひお越しください。



かすりの道洗浄、がんばってます

観光協会が発足してから、これまで以上に町内外から注目を集めているかすりの道。観光協会では、定期的に洗浄活動を行なって、かすり柄やさまざまな模様で彩られた、きれいな道路をよみがえらせてきました。2月の末から3月あたりにかけて、宇喜屋武の洗浄活動を行ないました。喜屋武の模様はかすり柄がみられるので念入りに、ピカピカになったかすりの道がいこいの場所になると嬉しいです。(大城)

## 南風原町観光協会 会員のみなさまへ

日頃から、南風原町観光協会の活動にご理解とお力添えをいただき、まことにありがとうございます。

4月で南風原町観光協会は活動3年目を迎えます。その間、およそ70の町内町外の団体、個人の方々に協会会員としてお名前をいただいて参りました。1年目と2年目を迎え、会員すべてのみなさまから、会員継続のご判断をいただきましたことは、協会三役および理事、職員一同、深謝の念にたえません。

2015年度も南風原町観光協会は、これまで培ってきたノウハウと、地域との連携を密にして、地域を盛り上げていけるように、まい進していきたいと考えております。会員のみなさまとともに創りあげるイベントができれば、これにまさる喜びはありません。まだまだ発展途上の観光協会ですが、4月の新年度以降も、なにとぞよろしくお祈りいたします。

## HERO from HAEBARU 脚本賞、募集中！

金城哲夫生誕75周年記念事業も無事に終わりました。ご来場下さった皆さま、運営にご協力くださった会員の皆さまありがとうございました。

ヒーローのまちづくり事業の次なる目標は、「南風原ヒーロー脚本賞」の成功です。脚本賞募集作品のテーマは、南風原の地で、あのライト兄弟より100年先駆けた沖縄の鳥人、「飛び安里」です。

数多くの脚本を世に送り出した金城哲夫氏は、沖縄芝居の脚本も多く残しています。氏へ敬意を込めて、「飛び安里」を題材にした演劇用脚本といたします。

プロアマ、作風は問いません。アナタの想い描く、自由な飛び安里のご応募お待ちしております。(金城・豊平)

